

《令和6年度事業計画》

公益財団法人 功農支援会

I 基本方針

近年、日本では農業者人口が減少しつつあり農業は衰退の一途をたどっている。新規で農業を始める人は少なく農業者の高齢化・後継者不足が進み日本の食料自給率もカロリーベースで40%を切っている。農業で成功するためには栽培力・販売力・経営力がなくてはならず、これから農業を始める人にとっては一般的な知識のみでは農業を行うことは困難であり、さらに農業を続けていくことは至難の業である。そこで当財団は、農業の担い手となる人材の育成・確保並びに就農活動、農業活動に対する支援を通じて、農業に関するノウハウと経営手法を伝授し、農業の振興と健全な発展に寄与するため、農業研修事業として、新規就農者に対する勉強会や実践研修を通して次世代型農業経営者を育成支援していくことを目的とした新規就農者向け研修プログラムを実施する。

また、農業研修事業の一環として、農業研修を受講している間の研修生への生活支援を目的として当財団の資金力を生かし、研修生へ研修助成金を給付する。

II 公益目的事業

1. 農業研修事業

次世代型農業経営者育成のため、就農希望の研修生を募集し下記のとおり研修プログラムを実施する。

(1) 研修生の募集

①募集期間：随時

(ア) 基礎研修コース：研修期間 原則4～6か月（随時募集）

(イ) 本研修コース：研修期間 原則1年～1.5年

（基礎研修終了後もしくは他研修実施者）

②募集定員：8名程度

(ア) 基礎研修コース：5名

(イ) 本研修コース：3名

③募集方法

下記の方法により当財団募集要項に沿って全国的に研修生を募集する。

- (ア) 当財団ホームページにて公募
- (イ) 新・農業人フェア、マイナビ就農FEST出展
- (ウ) 農業高校、大学校への案内
(愛知県立渥美農業高等学校、愛知県立農業大学校など)
- (エ) 行政との連携 (農起業支援ステーション、田原市、豊橋市など)
- (オ) 田原市商工会訪問

(2) 研修生の選考

当財団の選考委員会運営規則の規定に沿って選考する。

(3) 研修内容

①基礎研修コース(4～6ヶ月) ※基礎の研修を行うコースである。

【研修内容】

- トマト等施設栽培研修：収穫・出荷・葉かき(病気・カビを防ぐために古くなった下葉を取り除く作業)等、栽培実習を行う。
- ハウス設備、栽培システム等の操作方法や、簡単なメンテナンス方法を学び、季節変動に合わせたハウス内環境設定を操作ができるようになる。
- 生産物販売研修^{※1}：生産物の流通販売経路を理解し、情報収集の方法、消費者動向の分析等を学びながら収穫物の販売を行う。
- 家族経営農業実践研修：種苗、農耕機械等、農業に必要な物資の調達方法を学び、農業の生産計画をたて実行する。
- 大規模農園：提携先の大規模農園にて、労務管理等を学ぶ。
- 勉強会^{※2※3}：土壌、病虫害防除、施肥管理、環境管理等を講師より学ぶ。
- 圃場巡回^{※2}：圃場を巡回し栽培に関する意見交換等を行う。
- 定例会^{※2}：圃場巡回で得られた知識等を実地で活かすための検討等を行う。

②本研修コース(1～1.5年) ※基礎の研修終了後、本研修へ移行する。

【研修内容】

- 研修農場管理：栽培から経営まで自ら行いながら農業経営を習得するために、温室1棟を研修生が各自で管理する。
- 大規模農園：提携先の大規模農園にて労務管理の他、出荷管理、経営管理を中心に学ぶ。
- 短期研修：他品目での短期研修を行う。
- 勉強会^{※2※3}：就農手続き・マーケティング・経理等を講師より学ぶ。

- 圃場巡回^{※2}： 圃場を巡回し栽培に関する意見交換等を行う。
- 定例会^{※2}： 圃場巡回で得られた知識等を実地で活かすための検討等を行う。

※¹ 生産物販売研修

研修で生産された農産物を販売する実習を行う。

19,955,000円（見込み）

※² 勉強会・圃場巡回・定例会

基礎研修・本研修にて行う勉強会・圃場巡回・定例会の実施回数。

- ・勉強会 年52回
- ・圃場巡回 年24回
- ・定例会 年24回

(4) 栽培予定品目

品目： トマト、ミニトマト、葉ネギ、アスパラガス、コマツナ、切り花（キク）、
その他

(5) 研修助成金の支給

下記のコースにより、それぞれの助成金額を支給する。

- ・基礎研修コース 月額 8万円以内
- ・本研修コース 月額15万円以内

(6) 設備投資

研修生の確保並びに育成強化を目的とし、農産物生産・出荷に関する設備の充実を図る。Di号棟・D8号棟を改造しネットハウスで小菊の栽培（D8）及び夏秋ミニトマトを栽培する。

<目的>キクのネットハウス

有機肥料を使い、化学農薬を極力使わない試験栽培を行う。

夏秋ミニトマト

平地で施設での夏秋トマトの栽培は難しいとされてきたが、温度が上がらないようにハウスを改造することで栽培できないか試験栽培を行う。

<設備一式> 取得価格： 3,265,900円

Ⅲ 法人事業

1. 理事会の開催予定

(1) 理事会

日時：令和6年6月

主要議案：令和5年度に係る計算書類及び事業報告の承認

(2) 理事会

日時：令和7年3月

主要議案：令和7年度事業計画及び収支予算の承認

2. 評議員会の開催予定

(1) 定時評議員会

日時：令和6年6月

主要議案：令和5年度に係る計算書類及び事業報告の承認

3. 第二回有機栽培セミナー

日時：未定（8～9月で検討中）

4. 情報公開

ホームページ等を通して当財団の活動内容および実績並びに研修に関する情報の公開を行い、当財団の認知と事業内容の周知に努める。